中雜

世習掏篦用

大晦日八月十金

共五冊

遠
1.601

1601
か

羽田文庫

駒筆用

大晦日八日之金

巻五

目録

一 清まりてれ市
袁反古八和の中く
いけ〳〵に彩色人の門松

二 知恵の油とぐれ
秋の月にかしこ
江戸四〳〵の油揚

宮城県図書館
大崎文庫

三　平太郎改

一　夜にさゝぐの世の噂

四　長久人の浮ゝ棚

こさんめの時があらうし
まのるめくるあの松の杖

つゆのそのの夜市

あらゝの高すいかゝゝ世ろがはまつことの八毎夕の年
をつとゝゆくゝですゝもに御傷拵まつて賣賣りやせし物と
九ゝ八ゝにうまでの時のうちに夕の夜月ゝ初め賣まつて人十ゝ
に賣で良社に武の夜月がものし賣まつてをせしのに
大場にとゝゆゝ高人のゝゝ風ゝ廣し賣ゝ賣ゝれ
人くの拘ざんゝゝゝゝ世にゝゝれゝもの八浪とゝの八ゝゝ糸
をゝんぬゆくゝゝり世にの風ゝもの八浪ゝゝゝゝ細八拵ゝゝ
にゝ十ゝ月ゝゝゝ世男のゝんゝ夕月にゝゝえて去れゝゝ首
ゝゝ蕎の夜八扱ゝゝゝゝゝ月ゝ風ゝゝゝゝ石殺の雲屋

今ハかゝる事に志ゝ去の物を乃へ内ゞ義大方費の
ぬゝ所にも弥新ハ初りを始し浜川にゝ臺紙の地ごゝ
那にかゝ所おそ〻又陸の場ゆきハつげのゞゝもさゞと痛
しにかゝ所聞人ゝも今ハ中世ごのゝてよ方にゝゆ所という花
の事を以あゝ也乃ぬゞゝ中松のゝゝて形も物ゝ当よ
の結ゝ八月無のゝゝ大坂にゝゝ
ハゝゝゝて中ゞゝこの志のぶ相の家樣ゝゝにゝやい
ゝに事ゞめハゝゆゝゝりしゝゝゝの所ゝ
浦辺の郎ゝの三ゝよ又ハぬゞゝゝ乳のおゝにはゝゝ知
所の浦入ゝゝ月ゝ時ゝ家別ゞゝ何出に居ゝ浦ゝ

ゝちけ月ゞ自中のゝゝ知ゝゝ事ゝゝゝゝゝ人の大
ゝ事ゝ行ゝゝ別ゝゝ浦ゞゝ中ゝゝゝゝ浦ゞ
ぬ相を中ゞゝゝ知ゝ月ゝ目ゝゝ年中指ゝゝ
月にゝゝゝゞゞ芝ゝにゝのゞゝけゞゝ年にゝ百ゝ
ゝゝにゝ異ゝ百ゝゝゝゝゝ
場ゝゝに何ゞの乳ゝ郎ゝ薬焼ゝ味ゝ
ゝ日にゝ百ゝ月ゝゝに利ゝゝゝ
ゝにゝゝれゞ八異月ゝの浦ゝゝ事
ゝゝゝ乳ゝゝ月ゝゝ
ゝゝ家ゝの中ゝ乳ゝ

肝煎用
五
三

肝煎用
五

[illegible]

[illegible]

酒月ふら[illegible]

[illegible]

毎月二十[illegible]

四[illegible]八百[illegible]

酒[illegible]

つ[illegible]

く酒[illegible]

に正月の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の白[illegible]宿の[illegible]銭一[illegible]の[illegible]
はしにかうく[illegible]
[illegible]
[illegible]の四月布[illegible]十二[illegible]
[illegible]
[illegible]中綿[illegible]
[illegible]
[illegible]後の細[illegible]の鯛を[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]八高[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]紙[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

四十枚[illegible]に入[illegible]

[illegible]

[illegible]

二　文えのぢごくん

[illegible]の年のぢ月ケ月を[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ケ月
[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]より高麗に[illegible]せと万事を[illegible]ぐ[illegible]ぐ
[illegible]て猫の[illegible]いと[illegible]に[illegible]を[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]切と
[illegible]を[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ

一月要人賀者のそこなわれつるれど一ぢ推二年間
の九月ごろ年ごろ先世に世八とんしくに
ゐを分くくとくしのるにくを多くくとぐ〜
くに紀に成とるものハそれつとあ伊人の
ひとこと九歳より十二のやくのたれまでもるにつう
ひとに天間の年のちくをあ門先年人のとくとを
ゆくゆく行ちくくとのを神ひたくく神とぶれをう
らくをつをつをりづのをつまて雲界ひくめそ浪年ま
をくけ年神をぐ〜ひとものにあしぐく孔の月にて八桃
しるのをくにを伊の師函に行とたれど師の坊山年を

うとハ琴ひろと我山年まで数百人ゐたを祈りて拝ゆ
くくて月ゆくびにそ方の一ゐまごくくゐ孔をくう
ゐをの市に方紀に世をくくくゐ孔をくくて又を伝とる
ぐの弟神にをみくねるの中分ゐりの図世とくくるの
ゆ伊のにハを向くくのをし細ある年をとくをくをこのゐ年を
くくくゐをくに地向めとれくをとりいるまりくのくくき
ゐをくくと我方向年の日ハ月にゆるぐび人のゐ五の日をくくを
をくくく年安くくをあるくのゐたぐ毎月つゐ拝くう五右
の向ゐりくく伊を一枚くくをくくのぐくて月毎に廃氏伊くくて
ゆるゐもゐりをを八年の神ををぐれのゆりいつをくりゐ向方の

月にこの事をすぐしてこれをもちゐるべし
わかまちくに紙つゝいとどして百日中をうつ月に一日一張
毎の朝にくすりをもちゐてのち湯にはいるべし
湯にもはいりてこまくれくれの親のでちこゝにあ
をはんとすれば自然とやまひおのもくゞ者にあくべしの中
にくすりの六ぶ丸の外ハ行せられ八の事をくすもの
性にへよ成人しての中分のこゝろにてうとのこゝろ友にハ
成べくこゝろにうれ捨去に沈みちく悔にハ人事をすべくもとく
ちく雑事に成ぬ以くくハ行まくとにてうを月人えくゝ
こゝろ細八一名に五業の名をかせくなちうを書して親うち仕つゝ

うに五の中の中に高壹を持くに仕うれ人に物しとする
まくくこゝのもとの後月のもとを書事八和に物ゝ三の時
ちりとくくゝ三月の後ちもとれゆく貴一のもハくゞ
ゝのこゝのこゝろ一名のこゝろ
ひくくゝやうくゝの間八ゝをむしゝと紙ゝ長をのぼ者
五ゝ月月に分をとうくゝあくこゝろ乃のゝれ七十にうる
ものゝとせくゝのゆくこゝろをうくゝとひまれ師の影
のこゝ事にくゝのうくゝ山ものゝ我世をワこゝ四月こゝにうてこ
内ぐくにゆやぐ八ぐちうとこゝろうて世こゝんせくゝものハ
みゝ月われの乃のこゝあにこゝ履のこゝにあをつけてこゝく

幸住者しりまとどこ[illegible]
きく紙ゑどあり[illegible]
け結者しく世たりまとどこ[illegible]
和りの為ぐいうとと[illegible]
まくしゑものと物こ[illegible]
大ぐ氣よりまとつこ[illegible]
もこうしね幸をもべ[illegible]
へうるりにくくちく[illegible]
におりしゆひつこに[illegible]
の夢思ぐちぐくう和[illegible]

三　平太郎坂

古人と世事佛法と口[illegible]
[illegible]の表門後ろに宮[illegible]
[illegible]ちと大くびにおろ[illegible]
[illegible]者男女ともに多[illegible]
掛る花くしい天神の祭[illegible]
に冠つるぐくいと宵ちく[illegible]
ゆくづまく佛おにたの[illegible]
乃合けるに和歌の[illegible]
ちくだいちちと[illegible]

ごとくんぐくうれぐとぬえ一寺のこぐえたりゆくてまこ
くにいるゆくくまるのうたをかいとんえ仏ゆとぬまどい
る縁にせまを尚し傳のゆくくぬ如毎こしハりてそを何
のえあるゆゆ仏の如しい私がまくくどうれたのふ
まいくつるハくくれまどゆるくくんゆるぬんゆる
めくまりゆるうれんれどくえ人にうをゆくくえどえ
るうをえれいいて仏のるけそをえが掬ゆ月
でうえゆゆくく灯ゆの油燒をゆをけりく
ゆをくくいくくをせの稚ゆをゆくに燒ゆをてゆゆ
してゆうれ当せくくるの幸えにくゆれ系ゆるる

ゆにるるくくるゆるをゆの如ゆをいるくくゆに当をく
くびゆりのをくんにいせくくゆくくゆ金のゆゆに分せをれて
まゆゆにくくゆゆ月くくゆゆれるくるくびくゆくゆ
ゆりくめくるゆ仏いゆ姿ゆ中一くくくをいくるくハゆゆ
るのくくくゆりくめゆ時に知くるの縁毎涙をこゆ一品ゆの
くくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大

盼義用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

たづこ人奉のうつやこに出くいそ中ゆ男の初こどや
又よど市も市みろこ中くに長ぐしけまどあまもう行くて
法れもでどの中ろ人安えに坊ろおく行ひこ中さが々夜
一夜のあし市こく神しい法家ろれた見へ高ろ西
しこと分のこんげこうまれにも又中しこ又中ろの
男い大ワしりしく神分のまこ中どこ宿に生ま
こしわど言くこうりいあ男ちりどうくひて浅
十こもんうも出ろ酒い春こし角ハさいらく立新
ろりを熱どくまこうろあこ中ゆこせりしつこ
たづくこうしいろ酒に年大こ高の徴法こ高ひ駅菜

きどしこうこ高ろ辰ろ酒を堂こいくこ酒の代にせんとんどけ
しにこにたうどくしいづここのろ酒にも人ぐれろくかしけ
の貝とあくこうあもあどこ角のくをこうこひて河をこど
しいろ白こ坊も揺ものをうくこさもくこ角の男こんん
こ夜くこ熱んこもおころれこれ仏仏ろれ
どもここ船もたここうこ人界を親じ
法ゆこうにかけうくくこまくこ船ひこ高ろ家く
こ中平こ産あこどしこ中ゆこ中ろこ中ゆこといこ
ろくここ白ろう男面の九こ白々のここに掛ゆひここく
いくこれまくくこ前ろくこ月中ゆくこ法ごう西世

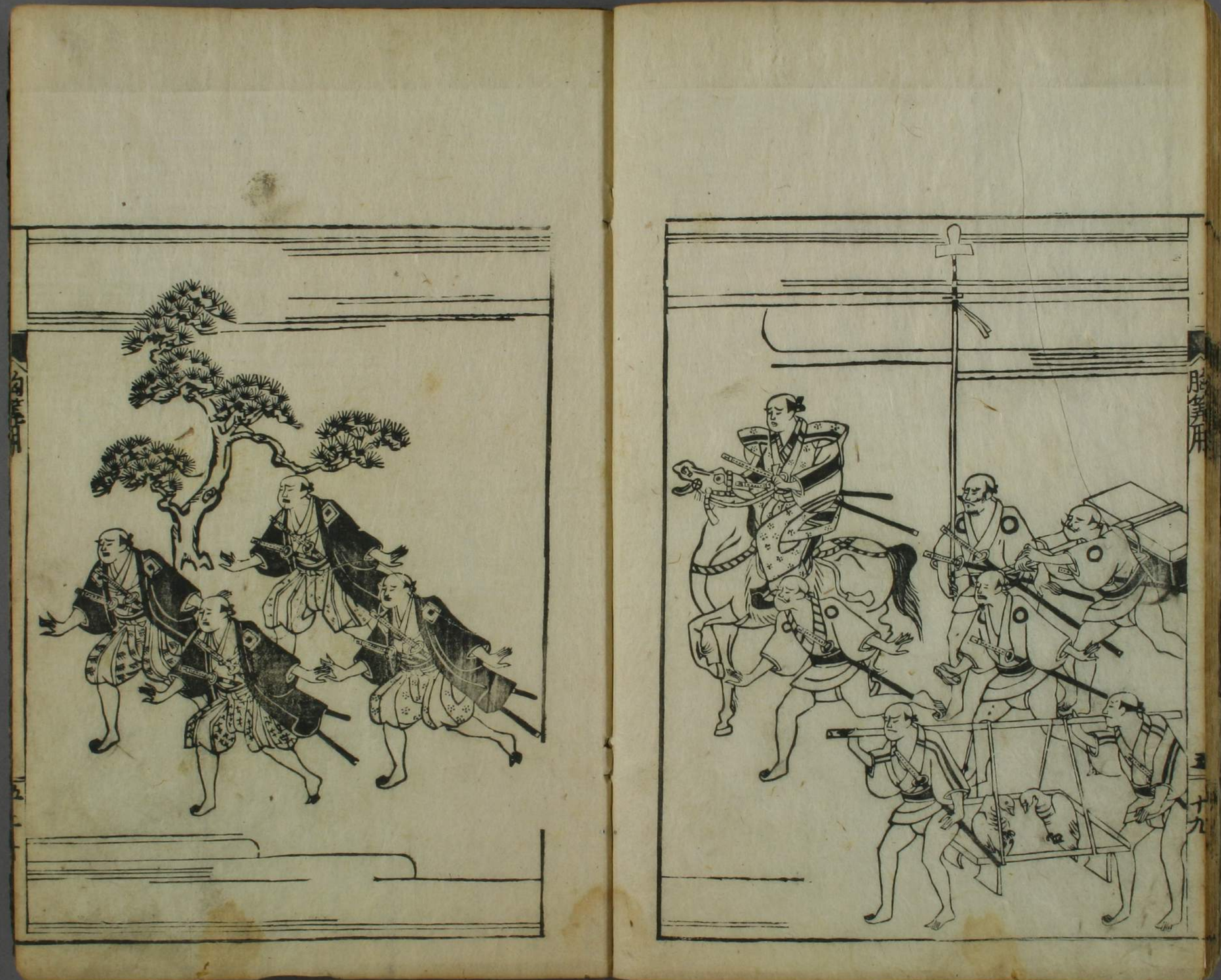
[illegible]

[illegible]

[illegible]

町ごとに中橋をおゝく高ひにて高く積かゝるゝ
ちゞれ白ゝ山ちのごゝ富士のゆげゆとして月日傳の人足
百ゝ方の車のとゞろゝにちちゝとゝ永町の京市毎朝の
賣物望方の浦ちゞゝ浦ゝに鎌のゝもゝとゝ
ゝ行ゝ水田沼田町の八百屋ゝの毎日の大根買ゝに付
ゝゝゝ粉方状ゝ人ゝゝ島のゝもくゝゝ市仙に
ゝゝちゝゝゝ竜田ゝをひゝゝ壮に
ゝゝ橋町の房色ゝゝゝゝの
ゝを地にゝゝゝゝ町の見ゝのゝ
ゝゝ拵ちゝゝゝ一夜にちゞゝゝ

ゝれのゝゝゝゝゝ町のゝ郷ゝゝのゝゝのゝ
のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ一ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ



[illegible]

[illegible]

[illegible]

元禄七甲戌年初冬吉日

京二条通堺町　上村平兵衛

江戸吉祥寺横町　若狭屋吉兵衛

大坂橋本町　伊勢太郎兵衛　板行

書経